

「評価基準」

評価項目	評価の視点
業務に対する取り組み方針	・本業務への取り組み方針、本市の情報発信における課題認識、提案コンセプト、期待される効果が具体的に示されているか。
提案システムの概要・実績	・LLMの選定理由及びその特徴が本業務の目的に合致しているか。 ・他の地方公共団体等における導入・運用実績が豊富であり、十分な信頼性を有しているか。 ・システムの構成について具体的に示されているか。
回答精度の向上とハルシネーション対策	・参照データの取り込み方法、回答の根拠表示、誤回答(ハルシネーション)を抑制するための具体的な仕組みが講じられているか。 ・市政に関係のない質問や、データに回答が存在しない質問等に対し、適切に処理できる機能を有しているか。 ・回答内容の精度や適切性を継続的に改善するための体制が構築できているか。
UI/UX アクセシビリティ	・視認性が高く、直感的に操作できるインターフェースであるか。 ・キーボード操作やスクリーンリーダー等のアクセシビリティに配慮した設計となっているか。
多言語対応	・那覇市公式ホームページ(以下、「HP」という。)と同様の、英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語を必須としその他の言語についても対応しているか。 ・自然かつ高精度な翻訳機能が備わっているか。
ホームページへの組み込み等	・HP への組み込みが容易に行えるか。 ・LINE からのリンクは簡単に行えるか。
管理者機能	・視認性が高く、直感的に操作できるインターフェースであるか。 ・管理者画面で利用できる機能について詳しく説明がされているか。
セキュリティ	・SSL 通信、蓄積データの暗号化、不正アクセスの防止等のセキュリティ対策が具体的に提示されているか。
運用・保守	・24 時間 365 日の安定稼働を維持するための運用・保守体制が整備されているか。
情報の保護	・取得・入力・生成・蓄積される情報について、第三者への提供および、受託事業者または第三者の提供する生成AIの学習データとして利用されない仕組みとなっているか。
導入スケジュール・体制図	・11 月 2 日の稼働に向けて、無理のない工程や体制が組んでいるか。

評価項目	評価の視点
追加提案(費用)	<p>・基準の月 5,000 回の利用を超えた際の本市の負担軽減策について説明されており、本市にとって有益であるか。</p> <p>例)基準以上の利用でも費用が発生しない(定額制)</p> <p>例)基準以上の利用した場合の単価(基準単価:44 円)が逡減されている。</p> <p>※本市は運用・保守込みの 1 カウント当たりの単価を 44 円と見込んでいる。(運用・保守業務に係る提案上限月額 220,000 円÷5,000 回)</p>
追加提案(任意)	<p>・本市にとって有益な追加提案があるか。</p>

・デモンストレーション

デモンストレーションに際しては、操作デモンストレーション用のテスト環境を用意すること。なお、環境構築にあたっては、HP (<https://www.city.naha.okinawa.jp/>) の内容を読み込ませ、本市の市政情報に対して回答できる状態にしておくこと。なお質問は 5 問程度を予定する。

※ 環境構築に係る費用は提案者の負担とする。

評価基準

- ・回答生成の速度(レスポンス)及び説明の分かりやすさ。
- ・当日提示する本市特有の質問に対し、正確な情報及び該当 URL を適切に引用できているか。
- ・古い情報や他自治体の情報と混同せず、参照範囲を適切に制御できているか。
- ・公序良俗に反する問いや市政に関係のない問いに対し、適切に対処・回避できているか。